

女性の活躍推進に関する企業意識調査 にご協力をお願いします。

■岡山県女性の活躍推進に関する調査 ご回答:平成29年1月12日(木) 〆切

岡山県では、男女共同参画社会の実現に向けた基本計画「第4次おかやまウィズプラン」を策定し、“男女が共に活躍する社会づくり”を基本目標のひとつに掲げ、誰もが働きやすく、暮らしやすい社会を目指し、「仕事と生活の調和の実現」に取り組んでいくこととしています。

また、平成28年4月には女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進するため国、地方公共団体、民間事業者それぞれの責務等を定めた「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が完全施行されました。

この調査は、企業における女性の採用や昇進の実態、職場における女性活躍の取組や課題などを把握し、これからの県の施策立案の基礎資料として活用するための調査です。

業務ご多忙のところ、誠にお手数をおかけいたしますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 ご回答いただいた内容は、統計以外の目的に使用することではなく、個別の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 2 この調査は、企業単位の調査ですので、本社以外に支社、工場及び営業所などの事業所があれば、それらも含めてご回答ください。
- 3 ご回答は、貴社の人事や総務をご担当なさっている方にお願いいたします。
- 4 ご回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から選ぶものと、内容をご記入いただくものがあります。次の要領でお願いいたします。

■ 選択肢の中から選ぶものは、(○は1つ)、(○はいくつでも)などと指定していますので、それに合わせてお答えください。

■ 答えが選択肢の中にない場合は、「その他()」を選び、()内にその内容を具体的に記入してください。

- 5 この調査は、平成28年4月1日を基準日としてお答えください。

【調査票のご提出について】

平成29年1月12日(木)までに、同封の返信用封筒(切手不要)により郵送をお願いします。

調査票の内容や記入方法についてのお問い合わせ先
【受託企業】株式会社東京商工リサーチ岡山支店 担当：山本、笠原
TEL：086-224-3311 (平日：9時～17時) FAX：086-224-0004

(注意) 用語について

- この調査では、直接雇用関係のある労働者を「従業員」と呼んでいます（パート・アルバイトも含む）。派遣社員は含みません。
- 「従業員」のうち、無期雇用契約でフルタイム勤務の労働者を「正社員」と呼んでいます。

問1 貴企業の概要について、お答えください。(○はそれぞれ1つ)

①	所在地	1 岡山市 2 倉敷市 3 津山市 4 玉野市 5 笠岡市 6 井原市 7 総社市 8 高梁市 9 新見市	10 備前市 11 瀬戸内市 12 赤磐市 13 真庭市 14 美作市 15 浅口市 16 和気町 17 早島町 18 里庄町	19 矢掛町 20 新庄村 21 鏡野町 22 勝央町 23 奈義町 24 西粟倉村 25 久米南町 26 美咲町 27 吉備中央町
②	従業員数	1 10名未満 2 10～29名 3 30～49名 4 50～99名	5 100～199名 6 200～300名 7 301名以上	
③	業種	1 鉱業、採石業、砂利採取業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 情報通信業 6 運輸業、郵便業 7 卸売業、小売業 8 金融業、保険業	9 不動産業、物品賃貸業 10 学術研究、専門・技術サービス業 11 宿泊業、飲食サービス業 12 教育、学習支援業 13 医療、福祉 14 複合サービス業 15 サービス業 16 その他 ()	

問2 貴企業の従業員の年齢構成について、お答えください。

(1番多い年代、2番目に多い年代、それぞれに該当する年代1つに○)

①	従業員の数が 1番多い 年代	1	10・20 代	2	30代	3	40代	4	50代	5	60代 以上
②	従業員の数が 2番目に多い 年代	1	10・20 代	2	30代	3	40代	4	50代	5	60代 以上

問3 貴企業の正社員の年次有給休暇の取得状況（平均取得率）について、お答えください。（○は1つ）

1	20%未満	3	50～80%未満	5	100%
2	20～50%未満	4	80～100%未満	6	わからない

問4 年次有給休暇の取得を促進するための具体的な取組を行っていますか。行っている場合は、その取組をお答えください。（○は1つ）

1	<u>行っている</u>	2	行っていない	3	わからない
---	--------------	---	--------	---	-------

その取組をお答えください。（○はいくつでも）

1	取得日数や取得率の年間目標（月間目標）を決めている
2	休暇取得予定を従業員間で共有している
3	担当者が休んでもフォローできる体制を整えている
4	誕生日休暇など、誰もが取得できる休暇制度を作っている
5	管理職が率先して休暇を取得するようにしている
6	その他（ ）

問5 貴企業における正社員1人当たりの平均残業時間（所定時間外労働時間）の状況についてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

(1) 男性従業員の残業時間

1	0時間/月
2	1～10時間/月
3	11～20時間/月
4	21～30時間/月
5	31～40時間/月
6	40時間以上/月

(2) 女性従業員の残業時間

1	0時間/月
2	1～10時間/月
3	11～20時間/月
4	21～30時間/月
5	31～40時間/月
6	40時間以上/月

問6 残業を減らすための取組を行っていますか。行っている場合は、その取組をお答えください。

1	<u>行っている</u>	2	行っていない	3	わからない
---	--------------	---	--------	---	-------

その取組をお答えください。(○はいくつでも)

1	ノー残業デー・ノー残業ウィークなどの設定
2	残業を行う際の手続きの厳格化
3	業務体制の見直し
4	業務の効率化
5	管理職の意識改革
6	その他 ()

問7 貴企業において、残業を減らすための取組を行う上で課題となっていることがありますか。

(○は1つ)

1	<u>課題がある</u>	2	特に課題はない	3	わからない
---	--------------	---	---------	---	-------

その課題をお答えください。(○はいくつでも)

1	人手を増やしたいが、人材確保が難しい
2	効率化のための設備投資に費用がかかる
3	業務量の増減の見込み・予測が立てにくい
4	社内風土を変えるのが難しい
5	管理職の意識を変えるのが難しい
6	従業員の意識を変えるのが難しい
7	その他 ()

問8 以下の項目のうち、過去3年間の正社員の退職理由として、該当するものがあれば、お答えください。

(○はいくつでも)

(1) 男性の退職理由

1	自身の健康上の理由
2	家族の介護
3	配偶者の出産
4	育児
5	転勤(本人や家族)

(2) 女性の退職理由

1	自身の健康上の理由
2	家族の介護
3	出産
4	育児
5	転勤(本人や家族)

問9 次のうち、貴企業で取り入れている制度をお答えください（「取り入れている」の欄に○をつけてください。○はいくつでも）。取り入れている制度がある場合は、その利用状況（直近1年間の状況）についてもお答えください。

また、今後取り入れたい制度（○はいくつでも）があれば、あわせてお答えください。

※<____>内は 法定期間または用語の説明	取り入れている		よく利用されている	あまり利用されていない	全く利用されていない	今後取り入れたい
①法定を上回る育児休業制度 <子が1歳に達するまで (場合により1歳6ヶ月まで)>		⇒	1	2	3	4
②法定を上回る介護休業制度 <93日>		⇒	1	2	3	4
③法定を上回る短時間勤務制度 <子が3歳に達するまで>		⇒	1	2	3	4
④法定を上回る子の看護休暇制度 <子1人につき年5日、2人以上は年10日>		⇒	1	2	3	4
⑤法定を上回る介護休暇制度 <要介護者1人につき年5日、2人以上は年10日>		⇒	1	2	3	4
⑥フレックスタイム制度の導入		⇒	1	2	3	4
⑦時差出勤制度の導入 <始業・就業時間の繰り上げ、繰り下げ>		⇒	1	2	3	4
⑧在宅勤務制度の導入		⇒	1	2	3	4
⑨転勤猶予制度の導入 <子育て中など一定期間転勤を免除する制度>		⇒	1	2	3	4
⑩転勤のない地域限定社員制度の導入		⇒	1	2	3	4
⑪退職者再雇用制度の導入		⇒	1	2	3	4
⑫育児・介護休業時の代替要員の確保 <新たな採用・他部署からの応援要員配置など>		⇒	1	2	3	4
⑬事業所内託児所の設置		⇒	1	2	3	4
⑭育児・介護休業からの復帰支援プログラムの導入		⇒	1	2	3	4
⑮留学、資格取得など自己啓発のための休暇制度の導入		⇒	1	2	3	4
⑯その他 ()		⇒	1	2	3	4

問10 貴企業の従業員に占める女性の割合について、お答えください。(○は1つ)

1	0%	4	41 ~ 50%	7	わからない
2	1 ~ 20%	5	51 ~ 70%		
3	21 ~ 40%	6	90%以上		

問11 貴企業における正社員の女性の平均勤続年数について、お答えください。(○は1つ)

1	3年未満	3	11~20年	5	わからない
2	3~10年	4	20年以上		

問12 貴企業において、女性従業員の割合を現在と比べ、増やしていく考えはありますか。(○は1つ)

1	増やしていきたい	2	変わらない	3	減らしていきたい
---	----------	---	-------	---	----------

問13 貴企業の求人に対する応募状況についてお答えください。(○は1つ)

1	男性も女性も同程度の数の応募がある	3	女性からの応募が多い
2	男性からの応募が多い	4	わからない

問14 女性からの応募を増やすための取組を行っていますか？行っている場合は、その取組をお答えください。(○は1つ。)

1	<u>取組を行っている</u>	2	取組は行っていない	3	わからない
---	-----------------	---	-----------	---	-------

その取組をお答えください。(○はいくつでも)

1	求人先に女性の多い大学・学校等を含める
2	合同企業説明会などで、女性従業員が会社案内を行っている
3	会社案内やホームページなどで、社内で活躍している女性従業員を紹介している
4	会社案内やホームページなどで、育児休業制度や短時間勤務制度など、出産や子育てに関わる社内制度を積極的に紹介している
5	平均勤続年数・有給休暇の平均取得日数の数値を積極的に公表している
6	採用権限のある者に女性を含めるなど、選考の中立性を確保している
7	その他 ()

問15 以下の役員及び管理職相当職の中で、貴企業において、女性が就いている役職をお答えください。(○はいくつでも)

1	事業主・社長	3	部長相当職	5	係長相当職
2	役員	4	課長相当職	6	その他

問16 今後の管理職の登用にあって、女性を積極的に登用しようと考えていますか。(○は1つ)

1	<u>積極的に登用したい</u>	2	<u>そういった考えはない</u>	3	わからない
---	------------------	---	-------------------	---	-------

→その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1	女性従業員の数が少ないから
2	管理職になるための勤続年数を満たす女性従業員が少ないから
3	管理職になることを希望する女性従業員がいないから
4	女性に適したポストがないから
5	女性が管理職に就いた前例がないから
6	安全や体力面での不安があるから
7	仕事と家庭の両立が難しくなると思われるから
8	男性社員の理解が不十分だから
9	すでに女性を登用しているから
10	その他 ()

→その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1	女性の発想やアイデア、視点を活かしたいから
2	意欲と能力のある女性を積極的に発掘し、確保したいから
3	ロールモデル※となるような女性の管理職を育てたいから
4	女性の管理職がひとりもないから
5	女性の従業員が多い職場だから (部署があるから)
6	職場環境・風土を変えていきたいから
7	その他 ()

※ 将来像を描いたり、自分のキャリア形成を考える際に参考にする役割を担うモデルのこと。模範。

問17 貴企業で、女性に管理職になることを打診し断られたことがありますか。ある場合はその理由をお答えください。(○は1つ)

1	<u>断られたことがある</u>	2	断られたことはない	3	わからない
---	------------------	---	-----------	---	-------

その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1	今より責任が重くなるから
2	管理職に就く自信がない、向いていないから
3	仕事と家庭の両立ができるかどうか、不安だから
4	管理的業務より、実務を続けたいから
5	その他()

問18 女性の管理職登用にあって、重要なことは何だと思えますか。(○はいくつでも)

1	優秀な女性人材の確保
2	出産後も働き続けることができる環境
3	残業時間(所定外労働時間)の縮減
4	女性のモチベーション向上
5	家族の理解、協力
6	従業員の意識改革
7	管理職の意識改革
8	経営者の意識改革
9	男性の意識改革
10	社会全体の意識改革
11	その他()

問19 貴企業では、女性の活躍推進のための取組を行っていますか。行っている・今後行いたい場合はその取組を、行っていない場合はその理由を、お答えください。(○は1つ)

1	<u>行っている</u>	2	<u>今後行いたい</u>	3	<u>行っていない</u>	4	わからない
---	--------------	---	---------------	---	---------------	---	-------

その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1	すでに女性が活躍できているから
2	何から取り組めばよいかわからないから
3	取り組める職場環境・風土ではないから
4	女性の従業員がいないから
5	その他 ()

その取組をお答えください。(○はいくつでも) ※男女の区別なく取り組んでいるものも含まれます。

1	従業員の意識改革を図るための研修
2	女性の活躍を推進するための担当部署やプロジェクトチームを設置
3	出産や育児により一度退職した従業員を再雇用できる制度
4	今まで女性が少なかった職域・部署への女性の配置
5	管理職候補となる女性を個別に育成 (ロールモデルの育成)
6	出産・育児による休職を不利にしない人事評価制度
7	パート・アルバイトなど非正規雇用の従業員が能力に応じて正規雇用に転用できる制度
8	短時間勤務、在宅勤務など多様な働き方ができる制度
9	育児や介護休業からの職場復帰支援
10	マタニティハラスメント対策の実施
11	男女公平な人材育成の機会の提供
12	職場環境、風土の改善に向けた取組
13	その他 ()

問20 貴企業では、男性が育児や介護に参加しやすくなるような取組を行っていますか。行っている・今後行いたい場合は、その取組についてお答えください。(○は1つ)

1	<u>行っている</u>	2	<u>今後行いたい</u>	3	行っていない	4	わからない
---	--------------	---	---------------	---	--------	---	-------

その取組をお答えください。(○はいくつでも) ※男女の区別なく取り組んでいるものも含まれます。

1	配偶者の出産や子育て中に利用できる休暇制度
2	男性従業員の育児休暇取得率など、数値目標の設定
3	社内で子育て中の男性を積極的に紹介(イクメン※1紹介)
4	出産・育児・介護に関する社内制度を紹介するガイドブックの作成
5	パタニティハラスメント※2対策の実施
6	その他()

※1 育児を積極的に行う男性

※2 男性の育児休業等の取得を妨げる行為

問21 貴企業において、女性の活躍を推進する上で課題となっていることがありますか。

(○は1つ)

1	<u>課題がある</u>	2	特に課題はない	3	わからない
---	--------------	---	---------	---	-------

その課題をお答えください。(○はいくつでも)

1	「家事や子育ては女性がすべき」という固定的な性別役割分担意識
2	業務の特性上、女性と男性を同じ環境下・条件下で働かせることが困難
3	正社員の女性従業員が少ない
4	女性従業員の勤続年数が短い
5	出産後、短時間勤務やパート勤務を選ぶ女性が多い
6	男性管理職や同僚の理解が不十分
7	女性従業員には、残業や深夜業務、遠方出張をさせにくい
8	女性従業員が管理職や新たな業務に就くことを希望しない
9	トイレや更衣室などの施設整備に費用がかかる
10	その他()

問22 女性の活躍推進を後押しすると思われる行政の取組・支援について、お答えください。

(○は3つまで)

1	女性の活躍推進に取り組んだ企業への奨励金等の支給
2	働く人全般を対象としたセミナーや講演会
3	経営トップを対象としたセミナーや講演会
4	女性の活躍に関する環境整備に関するワンストップ相談窓口の設置
5	全国の先駆的取組を紹介する冊子の配布
6	県内企業の人事担当者や女性管理職候補を集めた女性活躍先進企業の視察
7	県内企業の女性管理職を集めたマネジメント研修会・交流会
8	子育て中の働く女性と県内企業管理職との意見交換会
9	管理職・人事担当者を対象とした各種ハラスメント研修会
10	女性部下をもつ管理職向けのセミナー・研修会
11	女性の活躍推進に取り組んだ企業の表彰・認証制度
12	働きやすい職場環境と業績の関係性を示す調査データなどの提供
13	イクメン・イクボスの推進
14	<u>専門家</u> を個々の企業に派遣して行う個別アドバイス
15	保育所、幼稚園、学童保育、病児保育などの施設整備
16	その他 ()

▶ どのような専門家の派遣を希望しますか。(○はいくつでも)

1	社会保険労務士	4	弁護士
2	中小企業診断士	5	ワークライフバランスコンサルタント
3	経営コンサルタント	6	その他()

問23 行政の取組や助成制度などの情報を収集する手段をご回答ください。(○は2つまで)

1	国や県のホームページで閲覧・検索
2	国や県が定期的に発行する広報誌や公共施設に設置してあるチラシ、リーフレット
3	国や県が主催する説明会、研修会、セミナーに参加
4	業界団体や経営者団体が発行する冊子や主催するセミナーなどに参加
5	その他 ()

問24 講演会やセミナーへの参加を決める際のポイントをお答えください。(○は3つまで)

1	参加が無料であること
2	参加が有料であること
3	会場に無料駐車場があること
4	会場が駅の近くであること
5	国や県など公的機関が主催していること
6	経済・産業団体（経営者協会、経済同友会、商工会議所、商工会、産業振興財団など）から案内があった講演やセミナー等であること
7	講師が著名な人物であること
8	実践的な内容であること
9	平日の午前開催であること
10	平日の午後開催であること
11	連続2日や全4回など、集中した研修でまとまった知識が得られること
12	事前申し込み不要であること
13	国や県などの補助金や助成金の説明があること
14	その他（ ）

問25 今後の女性活躍推進に関する施策で行政に期待すること、女性活躍に対する考え・ご意見などありましたら、ご自由に記入してください。

お忙しいところ、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

アンケート調査票は、1月12日（木）までに同封の封筒にてご返送ください。